
製造原価シミュレーションシステム「aPriori」の販売を開始 ～Enterprise Product Cost Management「aPriori」～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:谷原 徹、以下SCSK)は、米国ボストン近郊にある APRIORI TECHNOLOGIES,INC.(本社:マサチューセッツ州コンコード、CEO:Stephanie Feraday、以下 aPriori 社)と国内販売代理店契約を締結し、製造業の設計開発・調達・製造など各部署で使用できる製造原価シミュレーションシステム「aPriori(アプリアリ)」の販売を、2016年4月1日から開始します。

1. 背景

製造業界では、製品をより早く市場に投入する必要性が求められているとともに、エネルギーコストの上昇や物価変動、労働賃金の上昇、海外での部品調達・製造などの影響により、コスト管理が非常に難しくなっています。またコストの約80%は設計が終了した段階で決定すると言われています。このような現状から、設計から調達・製造までのコストを、より早い段階で可視化することが求められており、SCSKは、それを実現する製造原価シミュレーションシステムとして「aPriori」の販売を開始します。

2. 「aPriori」の概要

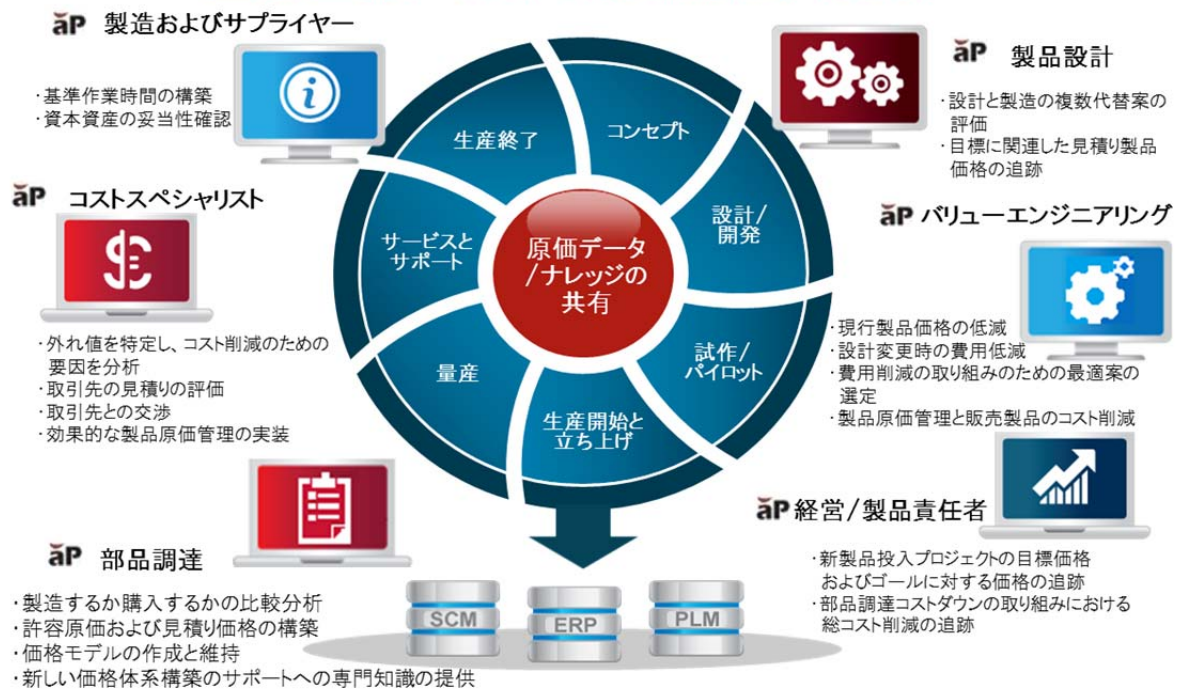
「aPriori」は、ユーザーの知識レベルに関係なく、設計・調達・製造の製造原価を、いつでも自動でリアルタイムに算出し、各工程で算出した原価を、企業全体で共有することができます。各場面において、部品材料、製造方法、製造工程、製造場所、設備機器、労働コストなど、コスト比較のシミュレーションを行うことができ、「SCM(Supply Chain Management)」「ERP(Enterprise Resource Planning)」「PLM(Product Lifecycle Management)」などとデータ連携することで、より包括的な管理が可能となります。

3. 「aPriori」の特長

「aPriori」は3次元CADモデルデータを直接読み込み、形状の特性、材料、製造場所、製造プロセスなどさまざまな要因を考慮したコスト計算を自動で行うことができます。設計の初期段階における目標コストとの差異比較、外れ値の部品および要因の特定、時間がかかっている製造工程の分析など、製造原価の削減方法を模索します。

- (1) 開発プロセスの早い段階から代替設計の可能性を模索し、設計変更などの手戻りを削減します。
- (2) サプライヤー(下請)からの見積価格を適正化し、金額の妥当性を判断します。
- (3) グローバルな視点で調達価格を判断し、コスト削減を図ります。

企業全体における製品原価の共有



4. 販売開始日

2016年4月1日

5. 販売目標および実績について

「aPriori」は、北米、欧州、アジアを中心に、15カ国100社のグローバルカンパニーで利用されています。SCSKは、日本で初めて本格的な販売を2016年4月1日から開始し、今後3年間で5億円の売上を日本国内において目指します。(導入支援、コンサルティングを含む)

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、システム開発から、ITインフラ構築、ITマネジメント、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)、ITハード・ソフト販売まで、ビジネスに必要なすべてのITサービスをフルラインアップでご提供します。

また、住友商事をはじめとするお客様の世界各国におけるITシステム・ネットワークのサポート実績を活かし、グローバルITサービスカンパニーとして、さらなる飛躍を目指してまいります。

URL: <http://www.scsk.jp/>

アプリアリ・テクノロジーズ社について

会社名: APRIORI TECHNOLOGIES, INC.

所在地: 300 Baker Ave Concord, MA 01742 USA

CEO: Stephanie Feraday

URL: <https://www.apriori.com/>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

製造エンジニアリング事業本部 営業推進部 担当: 番(ばん)、岩橋(いわはし)

TEL: 03-5859-3003

E-mail: apriori-info@ml.scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 高野

TEL: 03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。